

## 人生のシナリオを描いてみませんか!?

～ 4月より定期的にセミナーを開催します ～



ご家族やご友人のご参加も喜んでお受けいたします



石野(上)と井上(下)2人が講師を務めさせていただきます。

このたびは(株)キーストーンPコンサルタントでは、ライフプランセミナーの第一弾として、「人生100年シナリオ」セミナーを開催することになりました。

新事務所開設にともない、今後は定期的にセミナーを実施してまいりますので、是非ご参加いただき、私たちと一緒にライフプランについて考えてみましょう。

**「人生シナリオ」とは**  
一般的にライフプランは、通常の生活に加え、人生のライフサイクルの中で起こる大きな費用を考えて設計します。例えば、住宅資金や子供の教育資金、車の購入や子供の結婚費用、そして老後資金。こうしたライフプランは「お金」にフォーカスした話になりがちであり、人生を通じて「収支」が主な話になりがちです。

もちろん、こうした基本的なことを考えるのは大事なことです。人生はそればかりではありません。

つまり、「収支」だけでは人生は語れないと言ったことです。

そこで弊社では、「収支」だけでなく、健康づくり・セカンドライフなどをテーマに、皆様の「人生シナリオ」を一緒に考えたいと思います。

なぜ「100年シナリオ」なのか

世界一の長寿国「日本」！しかし、「長生き」=「幸せ」になっているでしょうか?? 不透明で不確実な時代を幸せに長生きするために、自分自身の人生の設計書「人生シナリオ」を描くことが必要です。そして、シナリオには結末、つまりゴールの設定が重要なのです。

百歳という、より具体的なゴールを設定することで、より明確なシナリオが完成します。殆どの人が、百歳という「そんなに長生きしたくないよ」とか「百歳なんて無理だよ」とかおっしゃいます。でも、百歳をゴールにすることで、デメリットがあるのでしょうか?

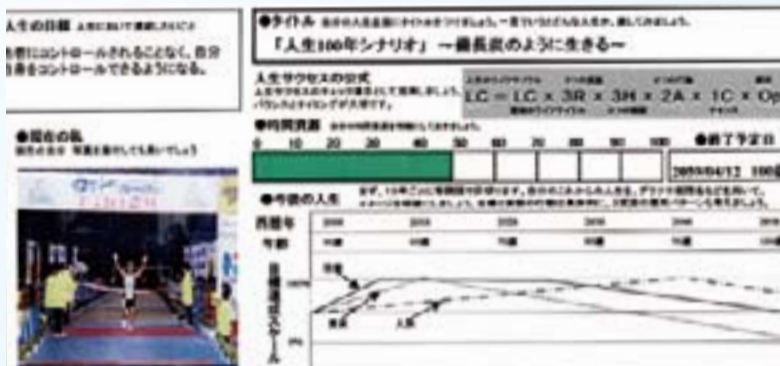
例えば、八十歳をイメージしてみてください。百歳まで生きること前提にです。あと二十年生きるとして、健康状態はどんな感じでしょうか? 生きがいが必要でしょうか? お金はいくら残っていないといけないのでしょうか?

石野と私も、ゴールを遠くに置くことで世界が広がることを実感しました。

### 参加型情報共有サークル!?

このセミナーは一方通行ではなく、皆様に参加していただき、お互い有益な情報を共有し、ともに成長するサークル形式の勉強会にしていきたいと

井上が作成した「100年シナリオ」タイトルは「備長炭のように生きる」とつけました。



考えています。机上の情報交換だけではなく、色々なことを体験しながら長期にわたって築いていく、実践型勉強会です。

また、前回この紙面でお知らせしましたGGL(ゲット・グッド・ラック)による、海外投資や海外ロングステイの知識習得や体験もしていただくことができます。

### 第一弾として

今回はその第一弾として、「人生100年シナリオ」セミナーを開催いたします。

決して堅苦しい会ではありません。口頃なかなかお会いできないあなたとの交流の場にしていきたくと思っています。詳細につきましては同封のチラシをご覧ください。ご興味を持っていただいた方は是非お気軽にお申込みください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

「人生のゴールが百歳だとしたら、あなたはどんなシナリオを描きますか?」

(文責 井上)

## ひとことコラム

### 「ALWAYS三丁目の…」

映画「おくりびと」がアカデミー賞外国語映画賞を受賞し、にわかに関心を集めて世界で脚光を集めています。

人の死という普通のテーマを、納棺師というあまり知られていない職業に就いた主人公を通して、ほのぼのとしたコミカルに描かれている点が、人々の心に深く感動を与えているのだと思います。

先日テレビで、「おくりびと」が並み居る海外の受賞候補作を押し、アカデミー賞を受賞したのは、今の時代背景が大きく影響しているのだ」とと評論家が述べていました。私もこの意見に同感です。

世界の経済や政治が沈滞し、将来の展望が見えない状態で

行き詰まり感が出てくると、人々は経済的な豊かさや反戦など社会的意義を訴えるようなものより、自分の心の内面に問いかけるようなものに強い関心を示すようになるような気がします。

そういう意味で、時代が変わり世の中が移り変わっていくと、人々の幸せに対する尺度もきつと変わってきているのだらうと感じます。

映画「ALWAYS 三丁目の夕日」では、東京タワーが日本の高度成長のシンボルであり、茶の間で近所中の人が集まってテレビを観戦することや、運転手付きの車を所有することが、幸せの象徴として描かれていました。

昭和三十年代当時は、言わば物質的には貧しくても心は豊かで夢が描けた時代。それに対して今の日本は、物質的にはむしろ過剰感があるくらい豊かでも、将来の夢が描けず、心の豊かさを感じにくい時代となってしまうているのかも知れません。

こんな時代だからこそ、国や周囲の環境に身を委ねるだけではなく、将来の展望を持ち、自分自身で幸せの設計図を描き直す必要があるように思います。

心はいつも、ALWAYS 三丁目の住人のように豊かでありたいですね。

(文責 石野)

私の友人がまた本を出版しました!

## 「世界一受けたいお金の授業」

ワニマネジメントコンサルティング 代表取締役 和仁達也さん



三笠書房より定価 1300円+税にて全国書店、Amazon などで好評発売中。

このたび、私の友人であるワニマネジメントコンサルティング代表取締役の和仁達也さんが、八冊目(翻訳本含む)の本を出版されました。

本の題名は、「世界一受けたいお金の授業」。

もともとこの本は、和仁さんが昨年品川女子学院の学生を対象に全六回に渡って行った講義「ビジネスで使えるお金の授業」を書籍化したもの。この授業風景がテレビ番組「カンブリア宮殿」で放映されるや、大反響となった話題の書籍です。

もともと和仁さんとは、六年ほど前に、ある経営者塾で一年間一緒に勉強してきた中で、彼は当時から歯科医や経営者向けに企業会計やビジョン実現のためのコンサルティング

を手がけ、クライアントから大きな信頼を得ていた大変優秀な経営コンサルタントです。

今回は、一見「ビジネスや経営の世界とはほど遠いと思われる」がちな女子高生を対象に、一生お金に困らない「稼ぐ、使う、貯める」技術をテーマに大変わかりやすい内容で解説し、受講生はもとより、父兄や先生方にもとても好評だったようです。

私も早速この本を読ませていただきましたが、私たちが仕事でお金に関して日頃伝えたいと思っていることも随所に盛り込まれており、皆さんにも是非お薦めしたい一冊です。

とりわけ本書では、世の中のお金の流れの「仕組み」が図解で簡単に説明されているので、ビジネスの世界に関わっていない主婦や学生の方々にも、とても読みやすい内容となっています。

日頃お金や経済のことに苦手意識を持っている方、お金を貯めようと思ってもなかなか思うようにお金が貯まらない方、上手なお金の使い方や活かし方を知りたいと思っっている方等は是非この本「世界一受けたいお金の授業」を一読されてはいかがでしょうか。

(文責 石野)



(株)ワニマネジメントコンサルティング 代表取締役の和仁達也(わにたつや)さん。名古屋大学出身。1999年1月に27歳で経営コンサルタントとして開業後、ビジョンとお金を両立させる専門家として、顧問先へのコンサルテーションのほか、企業内セミナーや各種講演活動で全国的に活躍中。

詳しくは、ホームページ <http://wani-mc.com/> をご覧下さい。

